

地域住民

一般避難所 福祉避難所

自主防災組織
個別避難計画

同時に進める必要性

受け皿整備
逃げ先拡大

一般避難所である「岡輝公民館」で要配慮者の避難を想定したHUG訓練（机上避難所運営）で予めイメージし、準備を行った上で避難所設営の初動を住民中心で行う避難所設営訓練を立場の違う多くの団体と協働して行うプロジェクト



地域の
医・介の専門職
岡輝ケアカフェ

自治体

*岡輝ケアカフェ

岡輝学区に事業所をおく医療・介護・福祉の専門職有志団体。さまざまな制度だけでは解決つかない地域課題に対して、みんながつながる企画を仕掛けることでいつまでも住み続けられる地域を目指す活動をする

防災への取り組みは共通の課題

「地域住民のリーダーの方」

「自治体関係機関」

「受け皿である避難所・福祉避難所・災害拠点」

「医療・介護の専門職」

各々で進捗は違えど取り組む姿勢にはあるものの

一緒に考え、取り組んでいかないとここから前に進まないのではないか、

「協働で取り組む」ことで他の地域課題をも取り組む地域の「話し合いの場」づくりができる